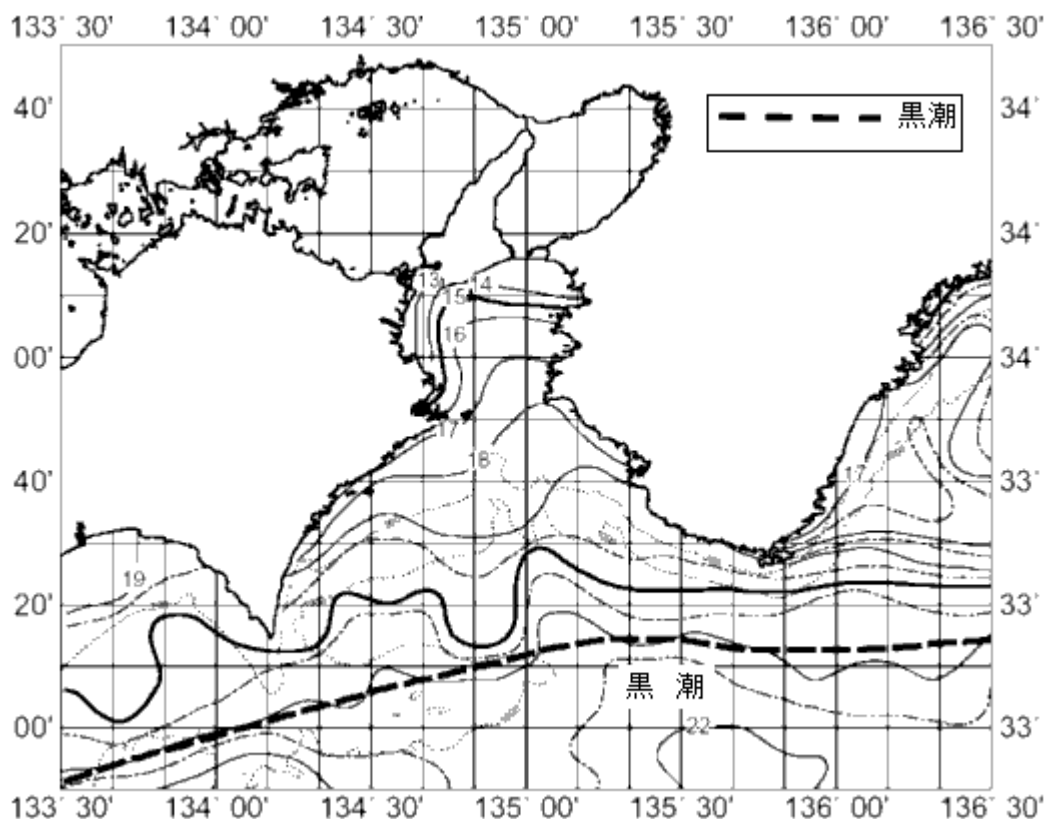


1. 海況の経過



海況

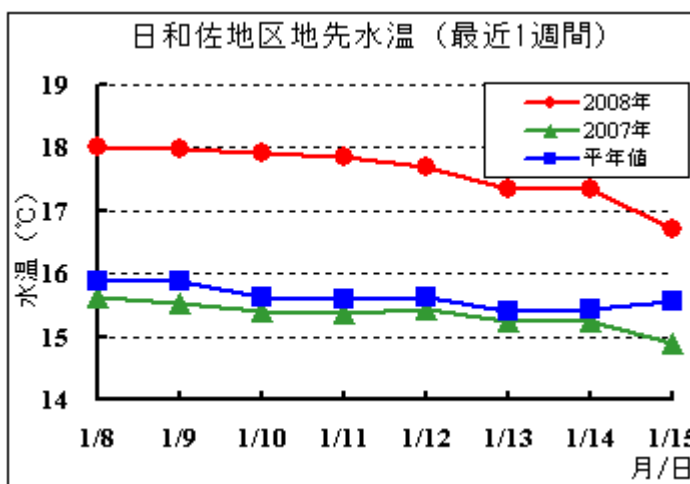
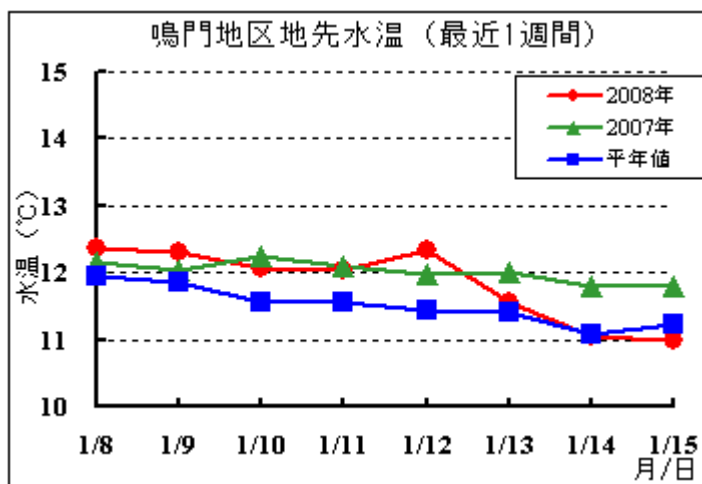
上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H20.01.15)を示した。

黒潮は室戸岬沖、潮岬沖ともに接岸している。黒潮本流の表面水温は19～22℃台である。

表面水温は播磨灘が12℃台、紀伊水道内部が12～17℃台、外域が16～20℃台となっている。徳島県側では16℃台の紀伊水道内海系水が外域へ南下し、海部沿岸を覆っている。また、潮岬沖の黒潮が接岸しているため、和歌山県側から18℃台の黒潮系暖水が紀伊水道内部へ流入している。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の11.0～12.4℃、日和佐地区は「やや高め」～「高め」の16.7～18.0℃、牟岐地区は「平年並み」～「かなり高め」の15.6～18.4℃で推移した。



2. 漁況の経過

延縄:海部沿岸で、大主体にサバフグが0.7トン(1日1隻あたり21kg)、アマダイが0.3トン(同16kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、メジロが0.8トン(同38kg)、アオリイカが0.7トン(同8kg)、小主体にマアジが0.3トン(同17kg)、キビナゴが0.2トン(同14kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、小小主体にマサバが0.5トン(同115kg)、大主体にスルメイカが0.2トン(同56kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、大主体にヨコワが2.0トン(同17kg)、大主体にアオリイカが0.8トン(同8kg)、特大主体にカツオが0.7トン(同139kg)、大主体にタチウオが0.3トン(同22kg)、紀伊水道で、大主体にサワラが0.3トン(同10kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋)01月08日～01月14日 県下5漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	サバフグ	32	679	21	大主体
		アマダイ	20	318	16	
		トラフグ	15	55	4	大主体
小型定置網		メジロ	22	846	38	
		アオリイカ	91	732	8	
		マアジ	15	259	17	小主体
大型定置網		キビナゴ	14	200	14	
		マサバ	4	459	115	小小主体
		スルメイカ	4	224	56	大主体
釣り		ヨコワ	118	1,964	17	大主体
	アオリイカ	105	843	8	大主体	
	カツオ	5	695	139	特大主体	
	タチウオ	16	345	22	大主体	
	紀伊水道	サワラ	28	281	10	大主体

週間予報:

黒潮は、室戸岬で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の10～11℃、日和佐地先で「平年並み」の15～16℃で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県の曳き縄釣りで、ビンナガが3.1トン(1日1隻あたり7kg)、釣りで、メジロが0.7トン(同6kg)、スルメイカが0.8トン(同7kg)、イサキが0.5トン(同4kg)、パッチ網でシラスが13.5トン(同270g)水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、サバ類が1.3トン、ウルメイワシが1.2トン、スルメイカが9.8トン水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上